

令和6年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

社会福祉事業

目 次

1 法人運営事業.....	- 1 -
2 地域福祉推進事業	- 5 -
2-1 地域福祉推進事業.....	- 5 -
2-2 福祉相談・援助活動の推進.....	- 8 -
2-3 共同募金運動等の推進.....	- 10 -
2-4 福祉団体事務	- 11 -
2-5 訪問型サービス事業	- 13 -
3 在宅福祉サービス事業	- 14 -
3-1 居宅介護支援事業.....	- 14 -
4 まごころ銀行運営事業	- 16 -

1 法人運営事業（総事業費 24,844,329 円）

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,018,000 円	(1,018 件)
	特別会員	48,000 円	(16 件)
	合 計	1,066,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

ア 理事会（2 回）

第 1 回 令和 6 年 6 月 7 日 出席者 理事 11 名 監事 1 名

（報告）評議員の選任結果について

評議員・役員選任規程検討委員の選定結果について

会長の職務執行状況について

評議員補欠候補者の推薦について

令和 5 年度事業報告の承認について

令和 5 年度決算の承認について

令和 6 年度資金収支第 1 次補正予算（案）について

介護予防支援事業者の指定に伴う定款の変更について

評議員会の開催予定について

まごころ銀行助成金交付に係る審査について

その他

第 2 回 令和 7 年 3 月 12 日 出席者 理事 10 名 監事 2 名

（報告）評議員の選任結果について

会長の職務執行状況について

評議員補欠選任候補者の推薦について

理事補欠選任候補者の推薦について

任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について

令和 6 年度資金収支第 2 次補正予算（案）について

職員賃金規程の改正について

嘱託職員賃金規程の改正について

育児・介護休業等に関する規則の改正について

令和 7 年度事業計画（案）について

令和 7 年度資金収支予算（案）について

役員等賠償補償保険の加入について

評議員・役員選任規程の改正について

評議員会の開催予定について

その他 令和 7 年度まごころ銀行助成事業の公募開始について

任期満了に伴う理事・評議員一斉改選スケジュールについて

地域食堂について

イ 評議員会（2回）

第1回 令和6年6月21日 出席者 評議員 20名 欠席 5名

（報告）評議員の補欠選任結果について

評議員・役員選任規程検討委員の選定について

令和5年度事業報告の承認について

令和5年度決算の承認について

令和6年度資金収支1次補正予算（案）の承認について

介護予防支援事業者の指定に伴う定款の変更について

その他

第2回 令和7年3月26日 出席者 評議員 19名 欠席 6名

（報告）評議員の補欠選任結果について

理事の補欠選任について

令和6年度資金収支第2次補正予算（案）の承認について

令和7年度事業計画（案）の承認について

令和7年度資金収支予算（案）の承認について

評議員・役員選任規程の改正について

その他 令和7年度まごころ銀行助成事業の公募開始について

任期満了に伴う理事・評議員一斉改選スケジュールについて

(3) 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

第1回 令和6年6月12日 出席者 委員 4名 会長、事務局 2名

評議員の補欠選任について

その他

第2回 令和7年3月19日 出席者 委員 5名 会長、事務局 2名

評議員の補欠選任について

その他

(4) 評議員・役員選任規程検討委員会の開催（2回）

第1回 令和6年12月4日 出席者 委員 9名 会長、事務局 2名

委員会の開催の趣旨と現状の共有について

意見交換

第2回 令和7年2月12日 出席者 委員 8名 会長、事務局 2名

第1回検討会の振り返り

評議員・役員選任規程（案）について

(5) 監査の実施状況

令和6年5月14日 (令和5年度監査) 監事2名、会長、職員2名

令和6年5月24日 (監査講評) 監事2名、会長、副会長、職員2名

(6) 労務管理・職員数の状況

法人全体					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和6年4月1日	8	2	0	6	16
令和7年3月31日	8	2	0	5	15
増 減	0	0	0	△ 1	△ 1

法人運営・地域福祉推進事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和6年4月1日	5	0	0	6	11
令和7年3月31日	5	0	0	5	10
増 減	0	0	0	△ 1	△ 1

在宅福祉サービス事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和6年4月1日	3	2	0	0	5
令和7年3月31日	3	2	0	0	5
増 減	0	0	0	0	0

(7) 社協内部部門間、近隣社協との連携強化

ア 幹部職員会：12回

イ 職員研修会：BCP、虐待防止など

ウ 宇和島広域1市3町（宇和島、鬼北、愛南、松野）社協意見交換会：1回

エ 3社協連携研修（砥部、愛南、松野）：3回

オ 珠洲市災害ボランティアセンター運営支援：1名 5月25日～5月31日

(8) 各種大会の開催

ア 松野町敬老式の開催 令和6年9月13日（金）開催

松野町及び中央公民館との三者共催による松野町敬老式を開催した。

長寿の祝い歳の方々（数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳）に、記念品を贈呈する式典形式で開催し、長寿を祝う下記内容の式典を行った。

なお、式典に参加出来なかった方への記念品は、運送業者によりお届けとなった。

主な内容 開催費用：1,319,146 円
式典

オープニングショー 保育園児
記念品贈呈 祝い歳の高齢者
児童作文発表 各小学校児童代表
アトラクション 空大樹スペシャルコンサート

祝い歳該当者内訳

単位：人

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和23年生まれ	80
傘寿(数え80歳)	昭和20年生まれ	33
米寿(数え88歳)	昭和12年生まれ	51
卒寿(数え90歳)	昭和10年生まれ	42
白寿(数え99歳)	大正15年、昭和元年生まれ	10
百賀(数え100歳)	大正14年生れ	6
合 計		222

年度	令和6年度			令和5年度			令和元年度			平成30年度		
内訳	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者
喜寿	80	22	21	84	17	16	63	14	14	53	21	22
傘寿	33	10	9	60	19	18	50	17	16	46	16	13
米寿	51	16	15	46	11	11	51	13	13	46	15	13
卒寿	42	6	5	37	4	4	41	11	10	49	8	6
白寿	10	1	1	9	1	1	6	1	1	2	0	0
百賀	6	1	1	4	0	0	1	0	0	7	4	4
小 計	222	56	52	240	52	50	212	56	54	203	64	58
老人クラブ代表		37	32		49	40		46	40		48	39
祝い年重複者		0	6		6	6		5	5		5	5
合 計	222	93	78	240	95	84	212	97	89	203	107	92

慰安演芸のみ
来賓27名 案内

参加割合	全体	23%	全体	21%	全体	25%	全体	29%
当日参加者/該当者	喜寿	26%	喜寿	19%	喜寿	22%	喜寿	42%
	傘寿	27%	傘寿	30%	傘寿	32%	傘寿	28%
	米寿	29%	米寿	24%	米寿	25%	米寿	28%
	卒寿	12%	卒寿	11%	卒寿	24%	卒寿	12%
	白寿	10%	白寿	11%	白寿	17%	白寿	0%
	百賀	17%	百賀	0%	百賀	0%	百賀	57%

イ 福祉のつどいの開催

「つなぐ、ひろげる、地域の“わ”」をテーマに、宇和島福祉協会、ボランティアグループをはじめ多機関の協力により、多世代が交流できる場の提供と福祉情報の発信を行った。今年度は、「高校生に教えてもらうスマホ教室」、「ゲームコーナー」、「権利擁護啓発コーナー」、「移動ふれあい動物園」、「健康チェック」、「カフェコーナー」などを通して、福祉への関心を深める機会とした。

また、福祉のつどいを通して、町内の社会福祉法人との連携を深める機会にもつながった。

参加者 約 120 人
令和 6 年 10 月 27 日開催

ウ 松野町戦没者追悼式の開催

松野町、松野町遺族会との共催による戦没者追悼式開催した。

参加者 約 35 名
令和 7 年 3 月 17 日開催 費用：66,981 円（献花代等）

エ 少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生を対象の少年の日を祝う会にて、記念品等を贈り、その開催を支援した。

助成費用 27,600 円（記念品代）

2 地域福祉推進事業 （総事業費 25,679,790 円）

2-1 地域福祉推進事業

(1) 第 2 期松野町地域福祉活動計画の推進

令和 6 年度の推進会は、10 地区合同での開催に加えて、各地区においても開催した。活動計画に基づいた地域活動を進めてきた中で、「災害への備え」が町全体の課題として挙がっていることから、今回の推進会は、現在取り組んでいる地域活動や地域のつながりを再認識し、日頃の活動と災害時の備えとのつながりについて考え、今後の活動をさらに広げていくために協議をした。

推進委員会には、中学校生徒会も参加し、福祉学習で取り組んだ「防災・減災イベント」の報告をしてもらい、推進委員にも知ってもらう機会とした。

地区福祉活動計画推進委員会の開催 1 回/全体会 1 回/各地区
事業費 地区福祉活動助成金 30,000 円×10 地区＝300,000 円

(2) ボランティア活動の推進

- ・松野町福祉ボランティアグループと協働して、「防災・減災イベント」の開催、通学路の清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

- ・中学校の福祉学習への取り組みに協力してもらい、中学生と一緒に防災イベントの準備をすることで、中学生の主体的なボランティア活動となり、地域の担い手づくりへとつながった。

- ・ボランティア活動の意欲向上のため、松前町ボランティア連絡協議会と交流会を開催した。

- ・活動の幅が広がるよう、ボランティアとの意見交換を行った。

- ・ボランティア活動をするうえで、地域の良さを知るため、地域散策を行い、ボランティア活動への活かし方について意識を高めた。

- ・ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 40名 14,000円（一人 350円）

(3) ボランティアグループの支援

ア 福祉ボランティアグループの支援

- ・総会の開催 令和6年5月30日
- ・朗読ボランティア活動
広報まつの等を年12回録音しテープを貸出した。利用者 2名
読み聞かせの実施
(学童保育夏休み・春休み、西小毎月第1金曜日、東小毎月第1木曜日)
- ・折り紙ボランティア活動
町内の小中学校へ折り紙や壁面かざりを届けたり、虹の森まつの保育園で折り紙教室を開催し、世代間交流を行った。また、サロンに出向き折り紙教室を開催した。活動回数 10回
- ・通学路清掃活動 西小校区2回
- ・防災・減災イベントの共催
- ・松野中学校生徒会 まちおこプロジェクトへの参加
- ・生徒会企画による町内の清掃活動、救急救命講習などをテーマとしての活動を通し世代間交流に参加した。

イ 日赤奉仕団の支援

- ・総会の開催 令和6年5月30日(ボランティアグループと合同開催)
- ・赤十字手つなぎボランティア(東小学校) 令和6年5月27日
内容 花の苗植え、交流会
青少年赤十字メンバー28名、教職員9名、奉仕団参加13名
- ・赤十字手つなぎボランティア(西小学校) 令和6年7月16日
内容 校内の清掃、交流会
青少年赤十字メンバー94名、教職員10名、奉仕団参加14名
- ・「防災・減災イベント」の共催
- ・赤十字ぬくもり子育て広場の開催 令和6年11月29日
内容 抱っこでステップ、幼児安全法
講師 松山赤十字病院・日本赤十字社愛媛県支部
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子及び奉仕団参加2名

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年1回郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数 年賀状 372名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

参加者の体力等を考慮し、夏季・冬季は休止する対応をとったが、休止時は個別に電話で体調等の聞き取りを行い、脳トレのプリントを郵送した。

参加者が減少していることもあり、今後の開催方法等について保健福祉課と地域包括支援センターと検討した。

スタッフ 職員 2 名

(正規職員 1 名、パート職員 1 名)

地区 3 班 (目黒、吉野 1、吉野 2)

利用者 30 名

参加費 1 回 100 円 事務費等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。新規サロンとして、2 つのサロンができた。令和 6 年から脱線グループ (豊岡後地区) は参加者の高齢化、体調不良により休会。

グループ名	実施回数	参加者
萩の会 (延野々五郎丸)	11 回	10 名
なでしこ (豊岡前)	12 回	12 名
あじさい (富岡地吉)	14 回	10 名
ミナクル会(富岡古市場)	13 回	6 名
パワーズ (吉野)	44 回	10 名
押し活 (吉野)	12 回	11 名
コスモスの会 (蕨生)	11 回	14 名
真茶グループ (蕨生真土)	7 回	9 名
にこにこ会 (蕨生谷口)	10 回	4 名
陽だまり会(蕨生奥内)	10 回	8 名
むくの会 (奥野川)	11 回	16 名
いろどり (町内)	9 回	7 名
12 グループ 合計	164 回	117 名

(7) 生活支援体制整備事業 (町受託事業) 事業費 : 3,492,001 円

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネート業務を、平成 28 年 8 月から松野町との契約により実施。

- ・ 毎日体操「未来貯筋体操」周知のための活動
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、サロンや生きがい活動支援通所事業、老人クラブ等の集まりで周知した。
- ・ 地域資源開発検討
ネットワーク会議等を活用し、専門職より必要な地域資源について検討した。
- ・ 協議体連携会議の開催
6年間の活動の振り返りと、地域活動の情報共有や今後の活動について意見交換を行った。

(8) 福祉教育への取り組み

ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

- ・ 福祉教育の実施

松野中学校 2 年生

防災・減災をテーマに、福祉ボランティアグループと協力し、防災・減災イベントの準備を行う中で、地域の活動や課題、地域の人を知り、自分たちができることを考え、行動した。授業外でも、イベントのスタッフとしての主体的なボランティア活動につながった。

東小学校 3・4 年生

高齢者の理解と認知症をテーマに、地域包括支援センターと協働で実施した。

地域の高齢者やボランティアに授業へ参加してもらい、町のいいところ探しや住みやすい町について意見交換をした。

- ・ 地域福祉活動計画推進委員会を通しての地域への福祉教育

推進委員会に中学生が参加してもらうことで、地域のことについて対話を通じて多世代で協議し、学校・地域と共に取り組める地域活動について考える機会とした。

2-2 福祉相談・援助活動の推進

(1) 心配ごと相談所事業の実施（町受託事業） 事業費：130,134 円

- ・ 相談員（民生児童委員 18 名）を中心に、毎月 1 回、社協にて心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとに対し気軽に相談に応じ、相談者の精神的な負担軽減できるよう、傾聴、助言、関係機関につなぐなど相談支援活動に努めた。

相談件数 1 件 〔 相続相談 〕

- ・ 年 3 回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 7 件 〔 相続、債務、家族間トラブル、戸籍、親権、介護・成年後見、隣接住宅の相談 〕

- (2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業） 受託金：499,000 円
認知症や障害者など判断能力に不安、または不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行った。
- ・福祉サービスの利用契約における援助
 - ・情報提供、相談、助言
 - ・日常的金銭管理、書類等預かりサービス
- 利用者 4 名 相談件数 472 件（959 件）
生活支援員 4 名
利用料 27,000 円（1 回 1 時間程度 単価 1,000 円 生活保護者は無料）
- (3) 法人成年後見人の実施
法人後見受任者 2 名
成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域（1 市 3 町）による権利擁護センター・自治体・社協と連携を図り、相談会の開催、課題の共有や協議を行った。
福祉サービス利用援助事業から本制度への利用者 2 名であり、継続した支援につなげることができた。
- (4) 生活困窮者自立支援事業（県受託事業） 受託金：4,000,000 円
家計改善支援事業（県受託事業） 受託金：1,855,000 円
愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。
また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計改善支援事業も併せて実施した。
プラン終結のための支援調整会議を開催し、地方局、ハローワーク、e ワーク愛媛、役場各課、民生児童委員の出席により、支援プランの評価と今後にも必要な場合の相談窓口機能としての役割について意見交換を行った。民生児童委員と定例会を 2 回開催した。本事業の内容説明や目的・意義について説明し、民生委員の役割について協議し共通認識を持った。相談内容について事例検討しながら、生活困窮が経済的なものだけでないことや、相談のつなぎ先の確認、地域住民の情報共有を行った。
- ・新規相談受付件数 20 件（14 件）
 - ・プラン作成件数 0 件（2 件）
- (5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）
（愛媛県社協の委託事業 受託費 509,320 円、相談体制整備 393,800 円）
低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童

委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

償還が滞っている世帯に対して、県社協と協働で相談会を開催し、生活状況の確認と返済についての相談を行った。

貸付世帯等の生活困窮者への支援拡充のため、生活福祉資金貸付事業と生活困窮者自立支援事業の事業間連携により、個別の相談支援体制だけでなく、地域での困窮者支援につなげるための体制づくりに努めた。

令和 6 年度				
	福祉資金 (緊急小口含む)	教育資金	合計	備考
貸 付 件 数	0 件	0 件	0 件 (2 件)	
貸 付 金 額	0 円	0 円	0 円	

のべ相談件数 41 件 (52 件)

(6) 小口資金貸付事業

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

- ・ 令和 6 年度貸付件数 3 件 (8 件)
- ・ 令和 6 年度末貸付高 304,000 円
- ・ 預金額 196,000 円
- ・ 原資 500,000 円

2-3 共同募金運動等の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 707,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることができた。

共同募金目標額	707,000 円
共同募金実績額	643,448 円
目標達成率	91.0%

(2) 共同募金配分金事業（5 年度募金による 6 年度配分事業充当）の実施

共同募金配分金事業 573,346 円

ア 一般募金配分金事業の実施 事業費：496,346 円

○ふれあい・いきいきサロンへの助成

サロン活動助成金 212,000 円 (10 グループ)

○中学校卒業記念品の図書カードを通して学習支援 (卒業生 25 名)

費用 50,000 円

○小学校入学記念品の学童傘贈呈による登下校の安全支援

(新入生 16 名) 費用 17,600 円

○ボランティア活動推進のため福祉ボランティアグループへの助成
補助金 38,000 円

○防災・減災イベント、地域食堂への助成、住民活動の支援等を行った。
費用 178,746 円

イ 歳末たすけあい運動の実施 事業費：77,000 円

令和 6 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」
をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受け
て実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、272,729
円の善意が寄せられ、義援金を福祉施設入所者 20 名へ贈った。

※ 事業費と募金額の差額 195,729 円は次年度一般募金配分金に充当する。

(3) 日本赤十字社 活動資金募金

日赤県支部との目標額 547,800 円を設定、活動資金募金運動を展開した結
果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をお
さめ、日本赤十字事業の支援が行えた。

活動資金募金目標額 547,800 円

活動資金募金実績額 543,321 円 目標達成率 99.1%

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行
いその活動を支援した。

ア 会議開催の支援

・ 理事会	開催回数 4 回
・ 総会	開催回数 1 回

イ 各種大会等の引率

- ・ 県老人クラブ大会
- ・ 県老人クラブスポーツ大会

ウ 軽スポーツの普及支援

- ・ クロッケー大会
- ・ ペタンク大会

エ 単位老人クラブの活動支援

- ・ 総会の資料作成支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行
いその活動を支援した。

ア 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1 回
- ・総会 開催回数 1 回

イ 各種大会等の対応・引率

- ・県障害者福祉推進大会
- ・中・四国障害者福祉推進大会
- ・リーダー養成研修
- ・県身障連市町団体代表者会議

ウ 運営費の助成 26,400 円

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

ア 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1 回

イ 松野町戦没者追悼式の開催

ウ 運営費の助成 26,400 円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

運営費の助成 16,000 円

2-5 訪問型サービス事業

(1) 訪問型サービス事業 事業費：4,069,694 円

行政との協議により、松野町から受託で、令和3年8月より町内に在住する要支援1，2の方を対象として生活援助サービスを開始した。

利用者が、要介護状態となることの予防、要支援状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むため、松野町事業実施要綱に基づき、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など生活援助に限定したサービスを実施。

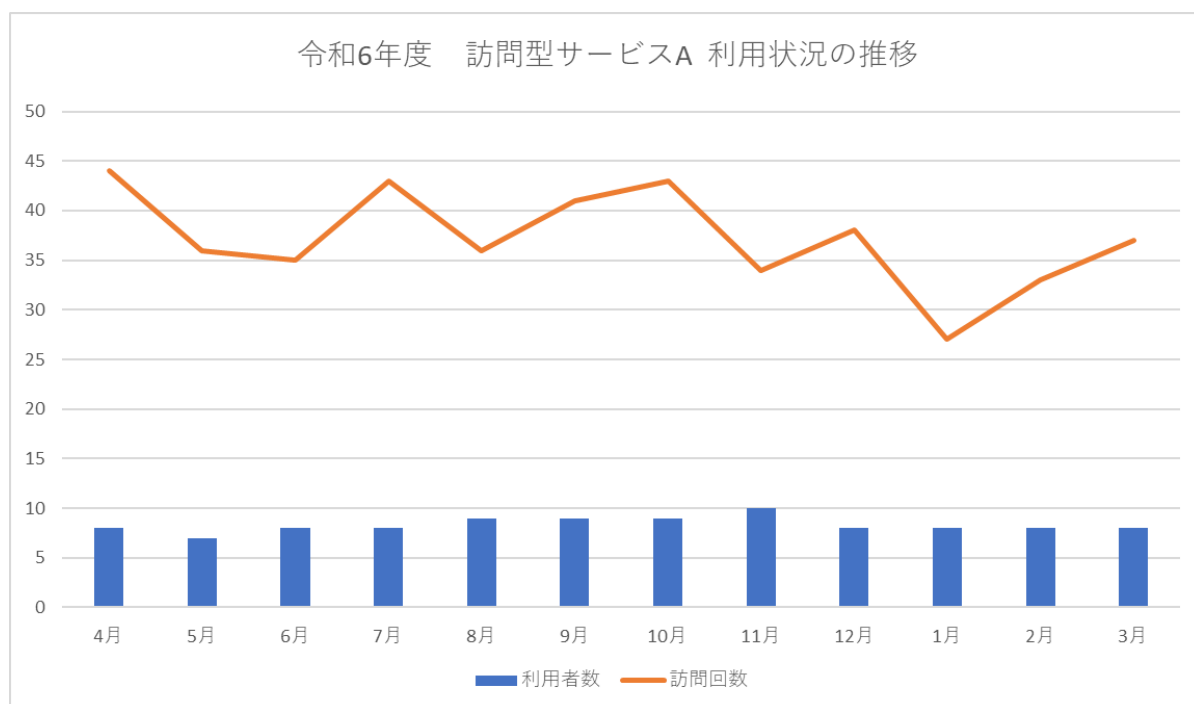
なお、身体介護が必要な利用者など、従来の訪問介護サービスを必要とする利用者については、ケアマネジャーのケアプランにより、事業所と利用者が契約の上、これまでどおり訪問介護サービスが利用できるよう調整をしている。

実施体制 管理者1名 サービス提供者2名

利用料 2,000 円／回（委託料 1,800 円+利用者負担金 200 円）

令和6年度利用状況の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	7	8	8	9	9	9	10	8	8	8	8	100
訪問回数	44	36	35	43	36	41	43	34	38	27	33	37	447



3 在宅福祉サービス事業（総事業費 24,507,203 円）

3-1 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、24 時間連絡相談体制を整備のもと、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

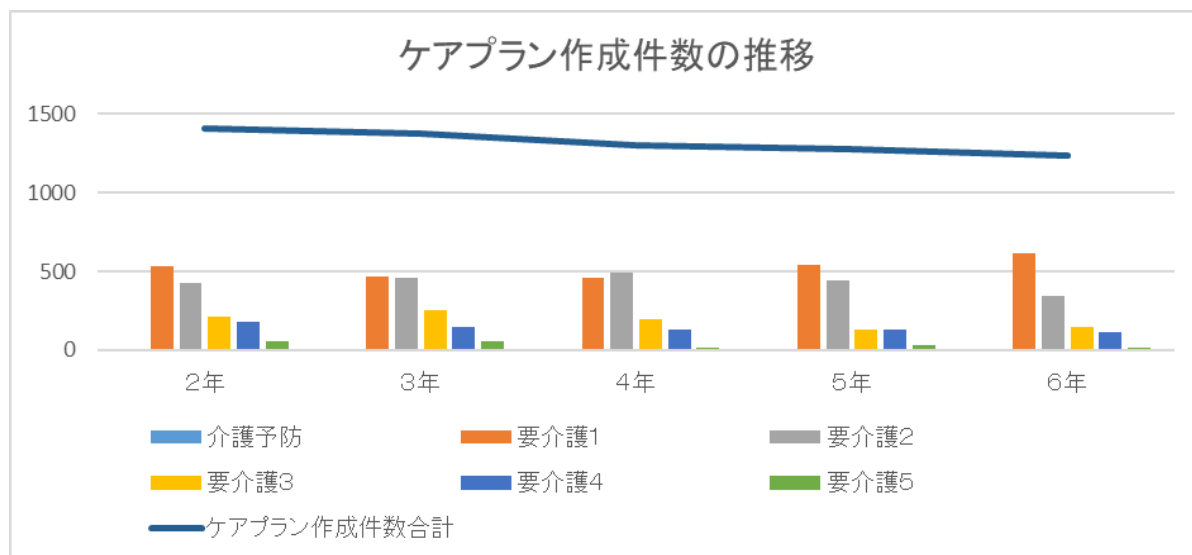
本町では、人口減少と同時に高齢者人口も減少している。身内に介護者する人がいない方など、在宅サービスのみで日常生活を支えることが困難な方が増加している。在宅福祉サービスを対象とした居宅介護支援計画を作成する本事業の契約者減に伴い、事業収支、専門職の確保の両面で非常に厳しい経営環境が続いている。

来年度から指定介護予防事業所として、要支援の方へのサービスを拡大し、利用者にとってよりスムーズな在宅生活の支援できるよう体制整備を行った。

当期活動増減差額 ▲1,055,217 円 次期繰越活動増減差額 10,888,545 円

ケアプラン作成件数の年度推移

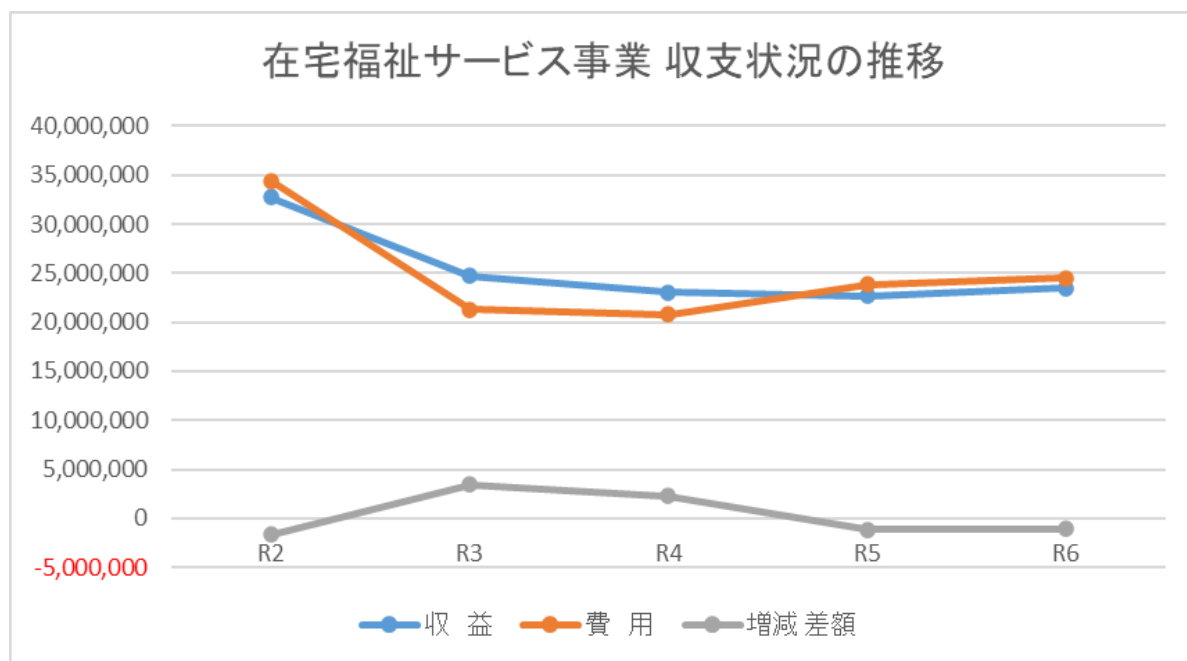
年度／認定区分	2年	3年	4年	5年	6年
介護予防	0	0	0	0	0
要介護1	534	471	461	545	614
要介護2	427	455	489	440	344
要介護3	212	250	197	132	145
要介護4	178	146	133	130	114
要介護5	55	53	18	30	18
ケアプラン作成件数合計	1,406	1,375	1,298	1,277	1,235



収支状況の年度推移

事業収支の年度推移

	R2	R3	R4	R5	R6
収 益	32,767,592	24,728,799	23,057,364	22,669,875	23,451,986
費 用	34,395,712	21,262,615	20,761,342	23,809,100	24,507,203
増減 差額	▲ 1,628,120	3,466,184	2,296,022	▲ 1,139,225	▲ 1,055,217



4 まごころ銀行運営事業（総事業費 1,317,290 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な運営管理に努めた。

まごころ銀行助成金交付要領にもとづき、町内団体から申し込みのあった 3 事業に対し、理事会で審査し、助成金を交付することで住民活動の支援につなげた。

また、本会の地域福祉活動や介護保険事業に活用させていただくと共に、新たに、地区福祉活動計画のバックアップ、子育て世代の支援を行った。

令和 6 年度 寄付金	1,335,000 円 51 件
寄付金総額（前年度末総額）	25,479,172 円（25,459,118 円） （20,054 円 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金 額	件 数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	300,000円	10	22%	20%
介護保険事業のために使ってください	245,000円	10	18%	20%
法人に一任します	790,000円	31	59%	61%
その他			0%	0%
計	1,335,000円	51	100%	100%

活用状況

活用内容	対 象	金 額
まごころ銀行助成金交付事業 （公募）	チーム豊岡フラワーロード	200,000円
	吉野生スポーツ少年団	123,000円
地区福祉活動助成金	10地区福祉活動推進委員会	300,000円
結婚・出産祝い金	9世帯（結婚1件、出産8件）	90,000円
	準備費用（購入手数料）	4,290円
本会の事業で活用	家計改善支援事業	300,000円
	居宅介護支援事業	300,000円
活用合計		1,317,290円